

参考資料

## 平成29年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
農 林 部

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総 額

### 【一般会計】

区分	平成29年度	平成28年度	伸び率
予算総額	23,141,274千円	22,321,074千円	3.7%
一般会計構成比	1.2%	1.2%	—

### 【就農支援資金貸付事業特別会計】

予算総額	30,521千円	33,824千円	△9.8%
------	----------	----------	-------

### 【林業・木材産業改善資金特別会計】

予算総額	20,680千円	59,700千円	△65.4%
------	----------	----------	--------

### 【本多静六博士育英事業特別会計】

予算総額	49,541千円	50,664千円	△2.2%
------	----------	----------	-------

### 【参考 公共事業の予算額】

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	伸び率
森林管理道	627,545	609,215	18,330	3.0%
治 山	518,463	502,395	16,068	3.2%
農業基盤	5,458,346	4,011,896	1,446,450	36.1%
合 計	6,604,354	5,123,506	1,480,848	28.9%

## II 主な新規事業及び重要施策

### 【埼玉農林業・農山村振興ビジョン施策体系】

#### 1 担い手による付加価値の高い食の安定供給と成長産業化が進む農業

- (1) 成長する埼玉農業を支える担い手を育成する
- (2) 優良農地の確保と農地の有効活用を進める
- (3) 多彩な農産物の生産力を強化する
- (4) 埼玉農産物の需要拡大を推進する
- (5) 食の安全・安心を確保する

#### 2 様々な働きを通じて県民生活・経済を支える森林・林業

- (1) 森林の循環利用を推進する
- (2) 県産木材の利用を促進する
- (3) 森林を整備・保全する

#### 3 地域資源を活用した多様な取組が展開されている農山村

- (1) 活力ある農山村を創る
- (2) 県民の農林業・農山村を大切にする意識を醸成する

## 1 担い手による付加価値の高い食の安定供給と成長産業化が進む農業

P 1	一部新規 埼玉農業フロンティア育成事業【農業支援課】	13,197
P 2	新規 埼玉農業先端技術導入支援事業【農業支援課】	15,670
P 3	農業経営法人化推進事業【農業支援課】	21,029
P 4	農業版ウーマノミクス事業【農業支援課】	17,914
P 5	一部新規 農地中間管理事業の推進【農業ビジネス支援課】	319,164
P 6	担い手を育む農地の整備【農村整備課】	1,240,811
P 6	農業水利施設の整備【農村整備課】	3,817,535

<一部平成28年度2月補正予算>

P 7	農林水産試験研究の推進【農業政策課】	1,015,938
P 8	一部新規 埼玉の肉牛を守り・育てる生産構造転換事業【畜産安全課】	32,934
P 9	新規 新たな農産物需要創出支援事業【生産振興課】	8,447
P 10	新規 次世代施設園芸技術導入支援事業【生産振興課】	28,626

<一部平成28年度2月補正予算>

P 11	新規 狭山抹茶振興モデル事業【生産振興課】	124,829
P 12	オーダーメイド型産地づくり事業【生産振興課】	38,985
P 13	県産米「特A」プロジェクト推進事業【生産振興課】	13,413
P 14	新規 儲かる観光農業支援事業【農業ビジネス支援課】	9,339
P 15	一部新規 埼玉トップブランド農産物PR事業【農業ビジネス支援課】	9,009
P 16	一部新規 埼玉農産物輸出総合サポート事業【農業ビジネス支援課】	6,332
P 17	埼玉スマートGAP推進事業【農産物安全課】	12,761

## 2 様々な働きを通じて県民生活・経済を支える森林・林業

P 18	埼玉の木みんなで使って豊かな暮らし応援事業【森づくり課】	68,405
P 19	皆伐から始める森の若返りスピードアップ事業【森づくり課】	246,296
P 20	治山対策の推進【森づくり課】	518,463
P 20	森林管理道の整備【森づくり課】	627,545

## 3 地域資源を活用した多様な取組が展開されている農山村

<一部平成28年度2月補正予算>

P 21	新規 農林公園食と農の拠点整備事業【農業政策課】	291,608
P 22	多面的機能支援事業【農村整備課】	625,097
P 23	川の国埼玉 はつらつプロジェクトの推進（農業用水）【農村整備課】	400,000

# 埼玉農業フロンティア育成事業

担当 農業支援課 新規参入支援担当  
内線 4052

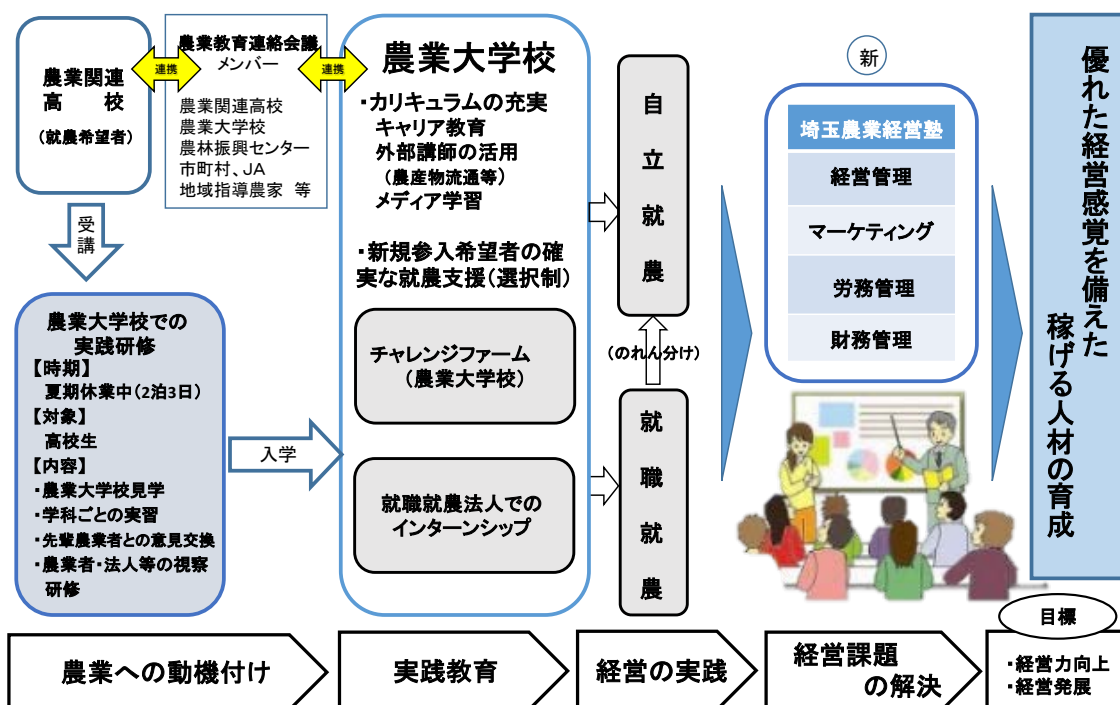
## 1 目的

農業高校生の就農への動機づけを図るため、農業高校と農業大学校、市町村等の連携を強化するとともに、農業大学校のカリキュラムの充実を図り、経営感覚を身につけた質の高い新規就農者を育成する。

さらに、優れた経営感覚を備えた稼げる人材を育成するため、農業経営塾を開講し、経営力向上と経営発展を支援する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 農業高校と農業大学校連携強化事業	県	農業高校と農業大学校等による連絡会議を設置し、地域で農業高校を支援する体制を整備するとともに、就農への動機づけを行うため農業大学校で宿泊による研修を実施する。	1,214千円
(2) 農業大学校教育充実事業	県	キャリア教育や外部講師を活用した専門性の高い農業教育を実施するとともに、経営感覚を養うことを目的としたチャレンジファームを設置する。	5,095千円
<b>新</b> (3) 埼玉農業経営塾運営事業	県	経営感覚を身に付けた質の高い人材を育成するため、農業者が営農しながら経営ノウハウを学べる農業経営塾を開講する。	6,888千円



3 平成29年度予算額 13,197千円

## 埼玉農業先端技術導入支援事業

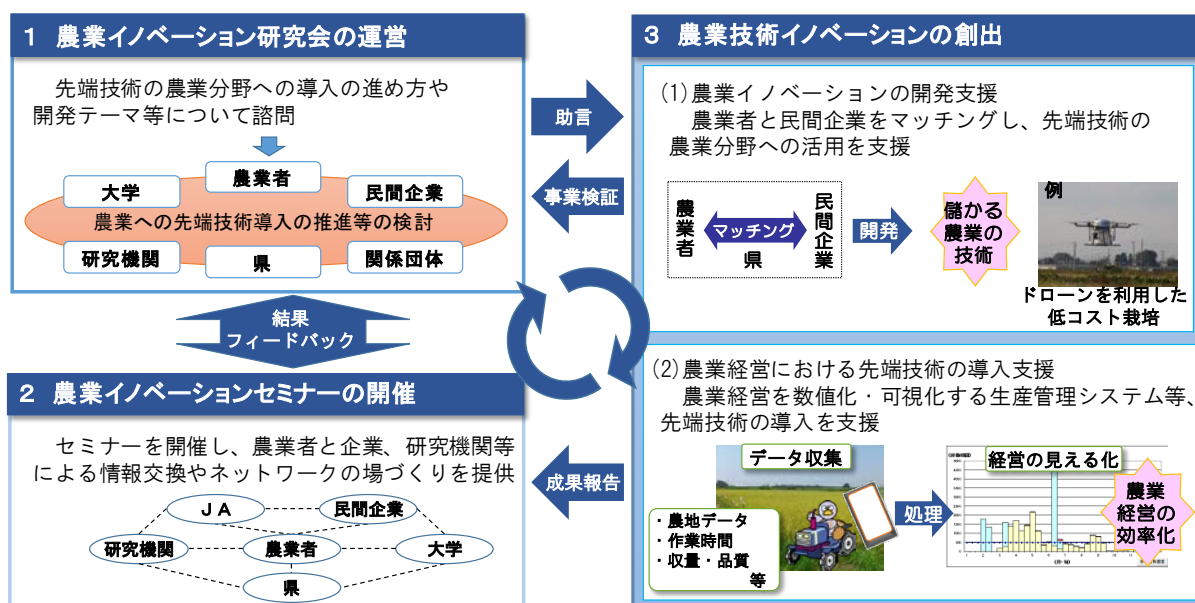
担当 農業支援課 普及活動担当  
内線 4047

### 1 目的

農業者の課題を解決し、生産性の高い農業を実現するため、民間企業等が持つ先端技術を最大限活用した新たな技術開発や実証を行う。

### 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 農業イノベーション研究会の運営	県	農業者、大学、研究機関、民間企業等で構成する研究会により、農業者の課題を解決するための先端技術の活用等を検討する。	813 千円
(2) 農業イノベーションセミナーの開催	県	農業者と大学、研究機関、民間企業等が一堂に介して情報交換やネットワークの場づくりを行う。	657 千円
(3) 農業技術イノベーションの創出	県 民間企業等	ア 農業イノベーションの開発支援 農業分野での課題を解決する新たな技術開発を支援する。	13,000 千円
	農業者	イ 農業経営における先端技術の導入支援 農業経営の数値化、可視化する生産管理システム等、先端技術を導入する農業者を支援する。	1,200 千円



3 平成29年度予算額 15,670千円

# 農業経営法人化推進事業

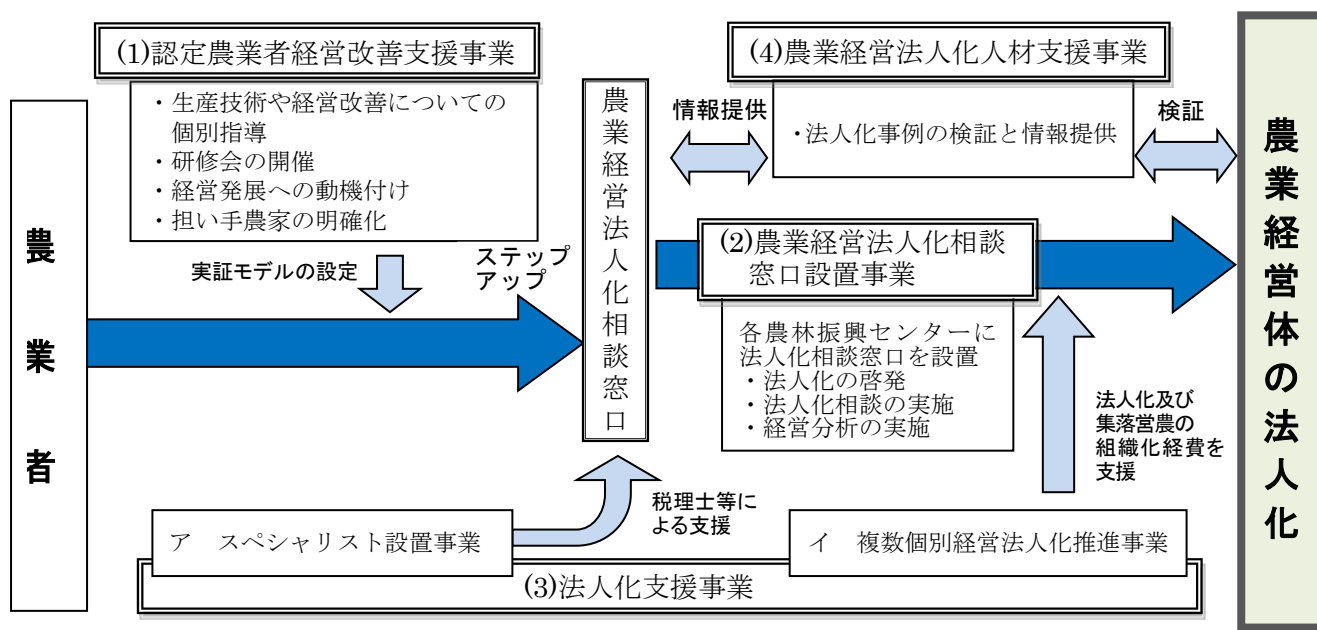
担当 農業支援課 経営体支援担当  
内線 4055

## 1 目的

地域農業の担い手である認定農業者などの経営発展を支援し、農業経営の向上を図る。また、税理士などのスペシャリストを活用した相談窓口の設置や複数の農業者等による法人設立への支援などに取り組み、農業経営の法人化を推進する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 認定農業者経営改善支援事業	県	認定農業者などの担い手に対し、生産技術や経営改善についての個別指導や研修会を開催し、認定農業者等を育成するための体制を整備する。	9,166 千円
(2) 農業経営法人化相談窓口設置事業	県	各農林振興センターの「農業経営法人化相談窓口」で、普及指導員が認定農業者などの法人化相談を実施する。	1,054 千円
(3) 法人化支援事業			7,507 千円
ア スペシャリスト設置事業	県	法人化相談のうち専門性の高い相談に対応するため税理士などのスペシャリストを設置する。	3,907 千円
イ 複数個別経営法人化推進事業	市町村	複数の農業者等による法人設立及び集落営農の組織化を支援する。	3,600 千円
(4) 農業経営法人化人材支援事業	県	法人化の事例検証などを通じて意欲ある農業者や関係機関に情報提供し、法人化をフォローアップする。	3,302 千円



3 平成29年度予算額 21,029千円

# 農業版ウーマノミクス事業

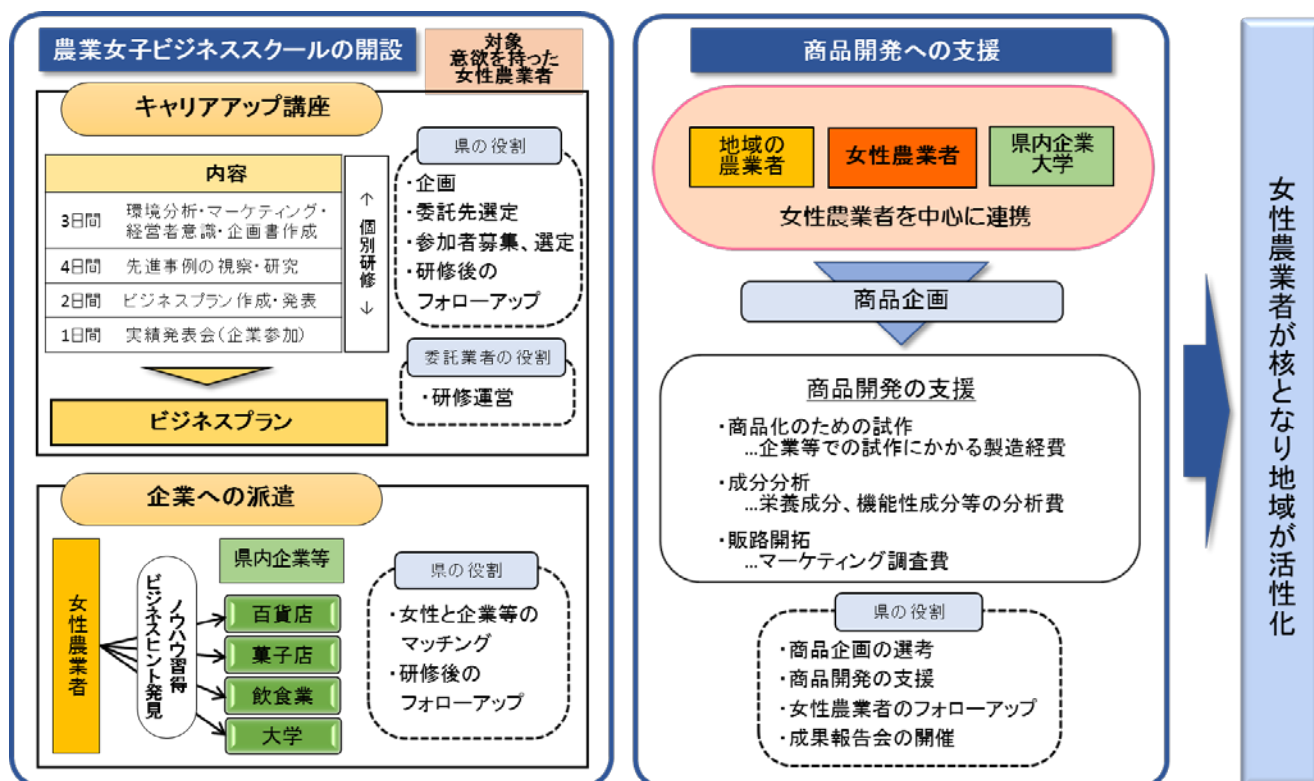
担当 農業支援課 普及活動担当  
内線 4047

## 1 目的

女性の持つ感性や視点の豊かさなどの強みを活かし、経営力の向上や新たなビジネスへのチャレンジを支援することにより、地域の核となる女性農業者を育成するとともに、地域における取組の波及を図る。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 農業女子ビジネススクールの開設	県	次世代のリーダーとなり得る「人財」を育成するため、意欲を持った女性農業者に対し、キャリアアップのための体系的な集合研修を実施する。	6,238千円
	県農業者	商品開発や販路拡大など企業との連携を望む女性農業者に対し、企業への派遣研修を実施する。	3,206千円
(2) 女性の視点を生かした商品開発	県農業者	女性農業者が県内企業や大学等と連携し、女性の視点を生かした商品開発に向けた試作や販路開拓等の経費を支援する。	8,470千円



3 平成29年度予算額 17,914千円

## 農地中間管理事業の推進

担当 農業ビジネス支援課 農地活用担当  
内線 4033

### 1 目的

農業の生産性向上と農地の有効活用を図るため、担い手への農地の集積・集約化を行う農地中間管理機構（以下「機構」）の運営や、機構が実施する畦畔除去による区画拡大、用排水路の改修など農地の集積・集約化に必要な耕作条件の改善を支援する。

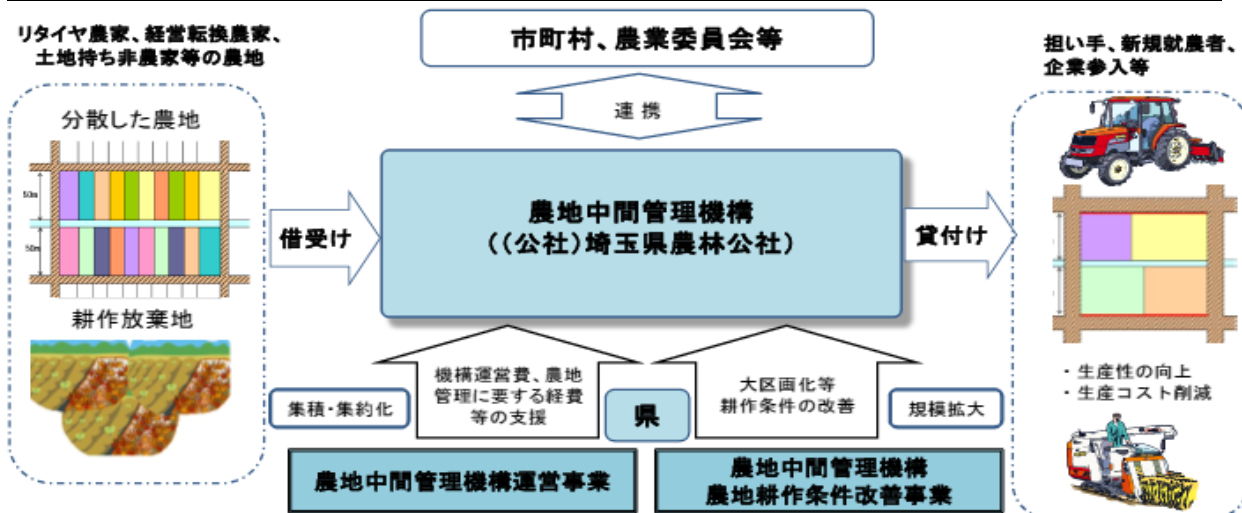
### 2 事業内容

(1) 農地中間管理機構運営事業 196,862千円

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 農地中間管理機構運営事業			190,723千円
ア 運営費	機構	機構の person 費・事務費、市町村等への業務委託費	146,760千円
イ 管理事業費	機構	転貸までの農地の賃借料・管理料、土地改良賦課金	43,963千円
(2) 県推進事業	県	機構に対する指導等の経費	2,961千円
(3) 農業構造改革支援基金積立金	県	基金運用益の積立	3,178千円

(2) 農地中間管理機構農地耕作条件改善事業 122,302千円

区分	事業主体	内容	予算額
新 農地中間管理機構農地耕作条件改善事業			122,302千円
区画拡大	機構	畦畔除去、均平作業等による区画拡大【6地区】	74,052千円
暗渠排水、道水路等整備	機構	更新する必要がある道水路等の整備【3地区】	48,250千円



3 平成29年度予算額 319,164千円



# 農業生産基盤の整備

担当 農村整備課 農地整備担当、水利施設整備担当、企画担当、水利調整・施設管理担当  
 内線 4351(農地整備担当)、4347(水利施設整備担当)、4345(企画担当)、4341(水利調整・施設管理担当)

## 1 担い手を育む農地の整備

### (1) 目的

農地の大区画化や用排水路・農道等の整備により、農業生産性の向上と営農条件の改善を図るとともに、農地の利用調整による経営規模の拡大を進め、高収益を目指す農業経営体の育成を促進する。

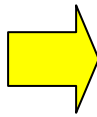
### (2) 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予 算 額
ア ほ場整備事業	県	農地の区画拡大と道路、用水路、排水路等の一体的な整備 【10地区】	973,430千円
うち 埼玉型ほ場整備事業	県	畦畔除去による区画拡大など簡易なほ場整備 【5地区】	690,140千円
イ 農道整備事業	県	農道の老朽化状況調査及び保全対策 【3地区】	248,850千円
ウ 団体営基盤整備 促進事業等	市町村 土地改良区	小規模な区域での農地、農道等の整備支援 【9地区】	18,531千円

#### 【担い手を育む農地の整備】



(整備前)



(整備後)

(3) 平成29年度予算額 1,240,811千円

## 2 農業水利施設の整備

### (1) 目的

用水路や排水路等の農業水利施設を整備し、用水不足や排水不良による農作物被害の解消や自然災害を防止し、農産物の安定供給と地域の安全性向上を図る。

### (2) 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予 算 額
ア かんがい排水事業	県	農業水利施設（用水路、排水路、排水機場）等の整備及び補修 【19地区】	1,898,645千円
イ 農地防災事業	県	排水路の改修、排水機場等の整備 【22地区】	928,686千円
ウ 団体営基盤整備 促進事業等	市町村 土地改良区	小規模な区域での用水路、排水路等の整備支援 【84地区】	990,204千円

(3) 平成29年度予算額 3,817,535千円

合計 農業基盤整備関係（公共事業） 5,058,346千円

# 農林水産試験研究の推進

担当 農業政策課 企画・試験研究調整担当  
内線 4032

## 1 目的

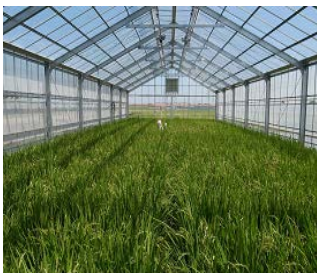
埼玉農業の競争力を強化するため、新品種の育成、環境変化に対応した農産物の生産技術、高収益・高付加価値生産技術などの研究開発を行うとともに、試験研究機能の充実強化に必要な施設等の整備を行う。

## 2 事業内容

### (1) 農林水産試験研究費・運営費

341,199千円

区分	事業主体	内容	予算額
試験研究費	県	県オリジナル品種の育成、環境変化に対応した栽培管理技術、大規模低コスト・高収益生産技術、高効率・高付加価値生産技術などの研究開発を行う。	263,345
運営費	県	県農林水産試験研究機関を効率的・効果的に管理運営する。	77,854



高温耐性水稻品種の開発



豚の人工授精技術の開発



茶新品種の育成



子持ちモロコ生産技術の開発

### (2) 施設整備関連事業費

674,739千円

区分	事業主体	内容	予算額
農業技術研究センター	県	・久喜試験場の土耕用トマト温室、育苗施設等の整備 ・畜産実験棟の改修 ・玉井試験場の農機具庫設計等	176,081
茶業研究所	県	・抹茶製造施設の整備 ・施設の耐震化、機械更新等	353,901
水産研究所	県	・養殖施設の整備	144,757



土耕用トマト温室



抹茶製造施設



養殖施設

## 3 予算額 1,015,938千円 (一部平成28年度2月補正予算対応)

# 埼玉の肉牛を守り・育てる生産構造転換事業

担当 畜産安全課 畜産振興担当

内線 4193

## 1 目的

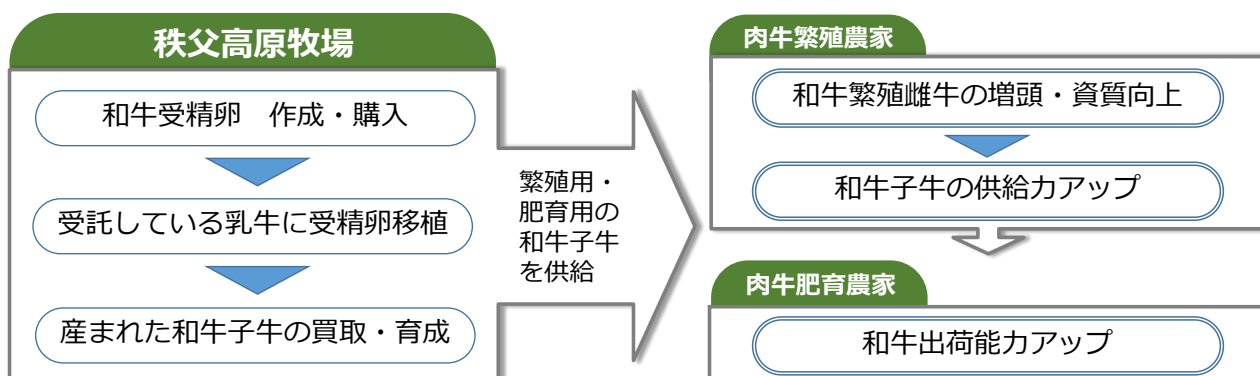
秩父高原牧場における和牛子牛の生産技術を活用し、県内肉用牛農家へ和牛子牛を安定的に供給することで和牛生産基盤の強化を図る。

また、埼玉県産牛肉の競争力強化のため、県産和牛ブランドの統一に向けた検討を開始する。

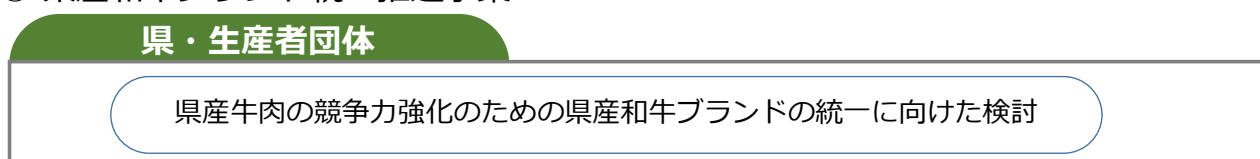
## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予算額
(1) 和牛子牛生産拡大事業	県	秩父高原牧場の乳牛受託育成牛に和牛受精卵を移植し、産まれた子牛を県が買上げ、育成し肉用牛農家に販売する。	32,809千円
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新</span> (2) 県産和牛ブランド統一推進事業	県	県産和牛ブランドの統一に向けた検討会などを開催する。	125千円

### ○ 和牛子牛生産拡大事業



### ○ 県産和牛ブランド統一推進事業



3 平成29年度予算額 32,934千円

# 新たな農産物需要創出支援事業

担当 生産振興課 野菜担当

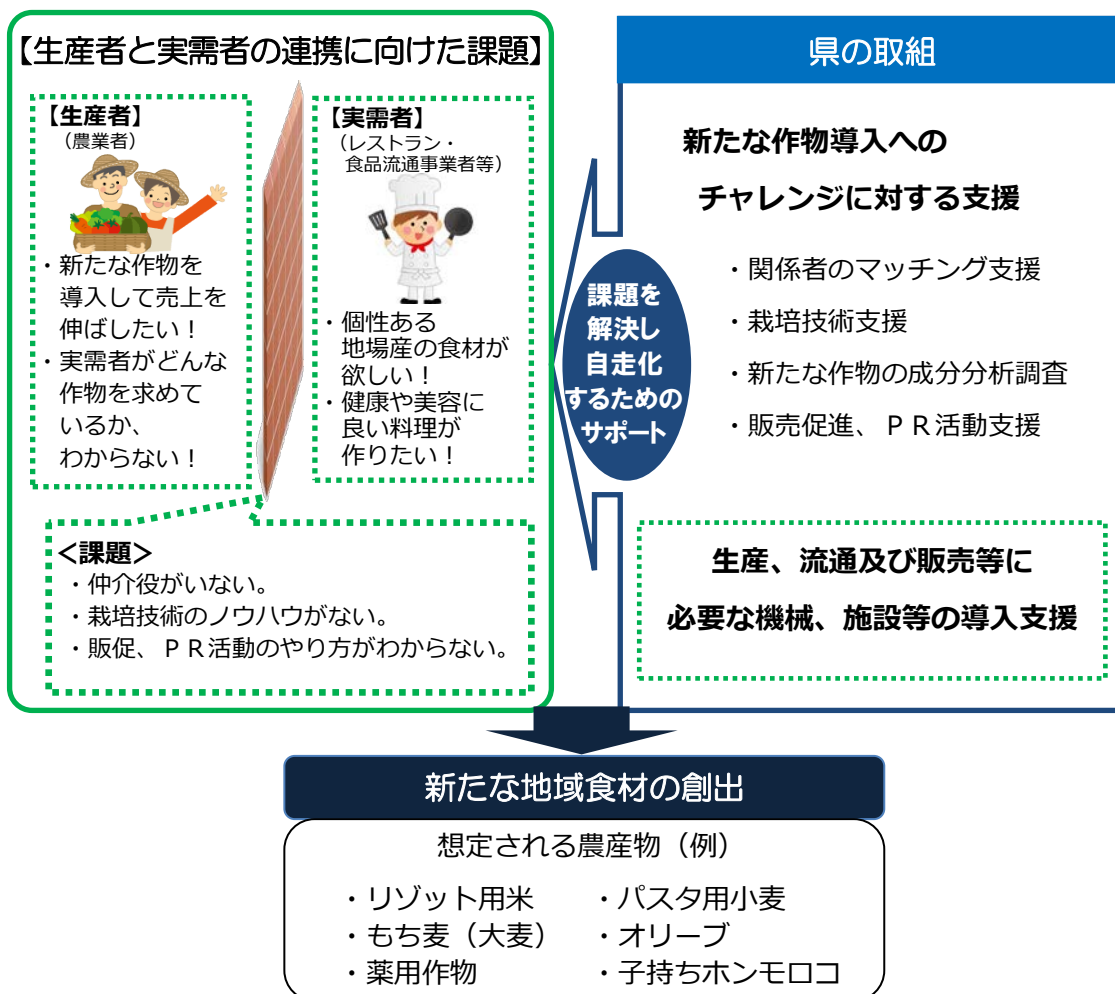
内線 4 1 4 2

## 1 目 的

農業者、流通業者、飲食業者等が連携して取り組む「地域食材や新たな作物を生かしたニッチなフード・ビジネス」を構築し、県産農林水産物の新たな需要を創出するため、県が関係者のマッチングや農産物生産の技術サポートを行い、新たな作物導入へのチャレンジに対する支援を行う。

## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予算額
(1) 新たな農産物需要創出支援活動	県	農業者等が行う新たな作物導入へのチャレンジに対して支援する。	4,447 千円
(2) 新たな農産物需要創出整備事業	農業者等が組織する団体等	生産・流通及び販売等に必要な機械、施設等の導入に対して支援する。	4,000 千円



3 平成29年度予算額

8,447千円

# 次世代施設園芸技術導入支援事業

担当 生産振興課 野菜担当  
内線 4082

## 1 目的

次世代技術実証・普及センター（仮称）で実証する次世代施設園芸技術とその成果を県内生産者に情報発信するとともに、県内生産者の次世代施設園芸技術の早期導入を支援する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 新技術普及推進事業	県	生産者等に対し次世代施設園芸技術を普及するための推進活動を行う。	1,926 千円
(2) 新技術導入支援事業	生産者団体 認定農業者 等	統合環境制御装置及び関連機器（CO <sub>2</sub> 施用システム、細霧システム等）の整備に対して補助する。	26,700 千円



3 平成29年度予算額 28,626千円

## 狭山抹茶振興モデル事業

担当 生産振興課 果樹・花き・特産・水産担当  
内線 4146

### 1 目的

二番茶葉を有効活用して国内外で需要が拡大している抹茶を生産しようとする生産者に対し、狭山茶産地では有していない抹茶の生産技術を確立・普及等することにより、抹茶の生産に意欲的な生産者を後押しし、儲かる経営を支援する。

### 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 抹茶製造設備の整備	県	本県の気候に合った加工技術を実証するため、県内のモデル施設として茶業研究所の製茶工場に抹茶製造設備を整備する。	110,000 千円
(2) 抹茶製造にかかる試験研究	県	低価格により生産が低調な二番茶を抹茶として有効活用するため、茶葉の栽培及び加工に関する技術の試験研究を実施する。	4,441 千円
(3) 抹茶の生産・製造にかかる技術普及活動	県	生産者が抹茶用茶葉の栽培や加工技術のノウハウを得るため、茶業研究所で確立した技術の普及活動を行う。	1,000 千円
(4) 抹茶用茶葉の栽培技術の導入支援	生産者	生産者による抹茶用茶葉の栽培技術導入を支援する。	4,000 千円
(5) 狭山抹茶の消費PR	県	狭山抹茶の需要拡大を推進するため、PRパンフレットの作成や外国人へのPR体制の確立を行う。	5,388 千円

### 二番茶を活用した抹茶生産による収益向上

#### 生産者の課題

- ・ニーズのある「狭山抹茶」に取り組みたい!
- ・埼玉の気候に合った抹茶生産技術がない
- ・毎年の茶葉の変化に応じた加工技術が必要

#### 食品加工業者

- ・「狭山抹茶」を要望



後押し

#### 県の支援

#### 抹茶生産に取り組む生産者を支援

- 栽培や製造技術の確立
  - ・抹茶製造施設の整備（茶業研究所）
  - ・栽培、製造技術の研究
- 栽培技術の導入を支援
- 狭山抹茶の消費PR



- ・生産者の収益向上
- ・狭山茶の新たな需要創出

- ・オリンピック、パラリンピックでのおもてなし

3 予算額 124,829千円（一部平成28年度2月補正予算対応）

# オーダーメイド型産地づくり事業

担当 生産振興課 野菜担当  
内線 4 1 4 2

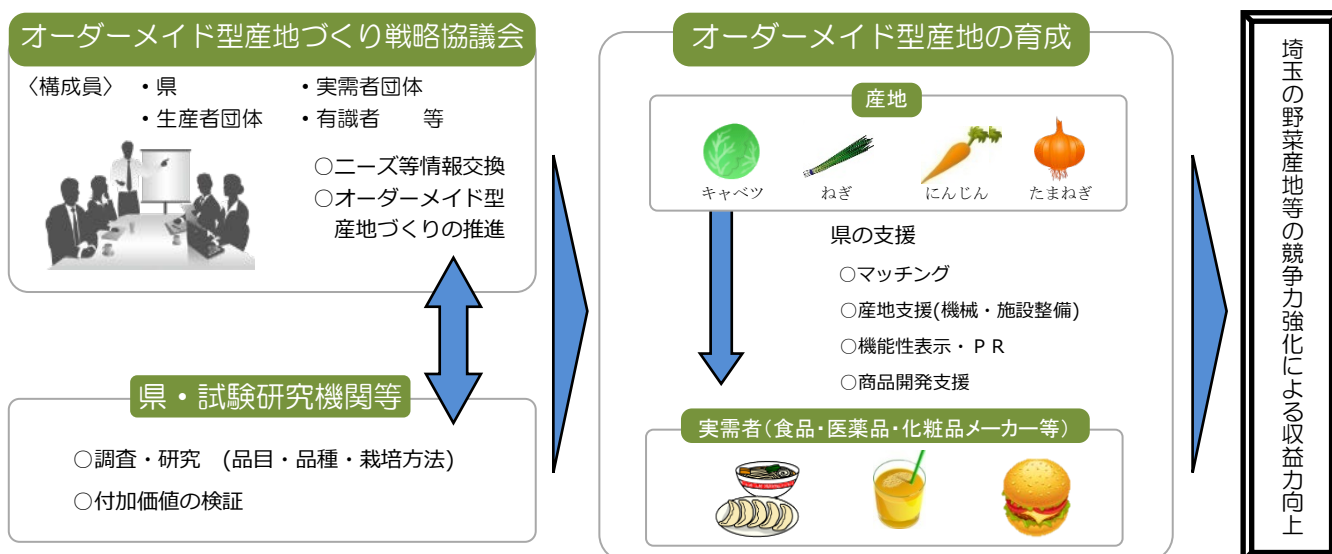
## 1 目 的

加工・業務用農産物に対する需要が高まっていることから、県内に食品、医薬品関連会社が多く立地している本県の強みを生かし、食品・医薬品メーカーからの要望に応えられるオーダーメイド型の産地を育成することにより、本県野菜産地等の競争力を高め、生産者の経営の安定化を図る。

## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予算額
(1) オーダーメイド型産地づくり推進事業	県	・オーダーメイド型産地戦略協議会の開催 ・地域における需要量調査とマッチング ・栽培方法の調査・研究	8,985 千円
(2) オーダーメイド型産地づくり支援事業	生産者団体等	機械、施設の導入支援	25,000 千円
(3) 高付加価値型産地づくり支援事業	生産者団体等	機械、施設の導入支援	5,000 千円

## オーダーメイド型産地づくり



3 平成29年度予算額 38,985千円

# 県産米「特A」プロジェクト推進事業

担当 生産振興課 主穀担当  
内線 4144

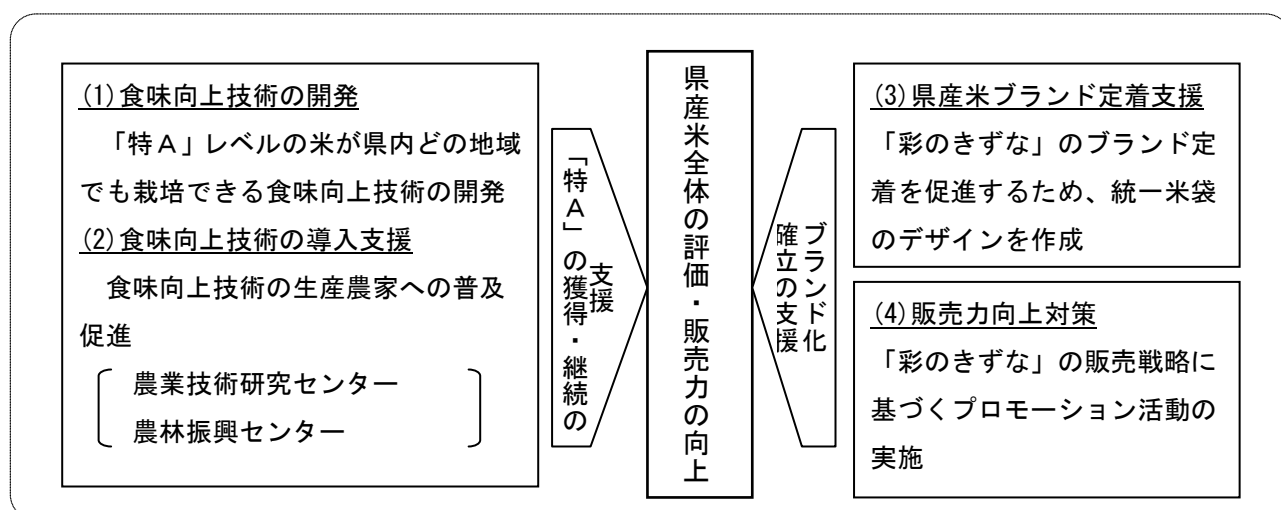
## 1 目的

本県が育成した水稲品種「彩のきずな」が「特A」を獲得するための技術開発や栽培技術の普及とあわせて、県産米のブランド化への支援を実施する。

これらの取組により県産米全体の評価を向上させることで、販売力の強化を図る。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1)食味向上技術の開発	県	「特A」レベルの米が県内のどの地域でも栽培できる体系的な技術開発を行う。	5,514 千円
(2)食味向上技術の導入支援	県	農家段階での適応性を調査・検討するとともに、栽培技術の普及を促進する。	2,067 千円
(3)県産米ブランド定着支援	県	県産米「彩のきずな」のブランド定着を促進するため、統一米袋のデザインを作成する。	1,910 千円
(4)販売力向上対策	県	「彩のきずな」の販売戦略に基づくプロモーション活動を行い、県産米の消費拡大を推進する。	3,922 千円



3 平成29年度予算額 13,413千円



# 儲かる観光農業支援事業

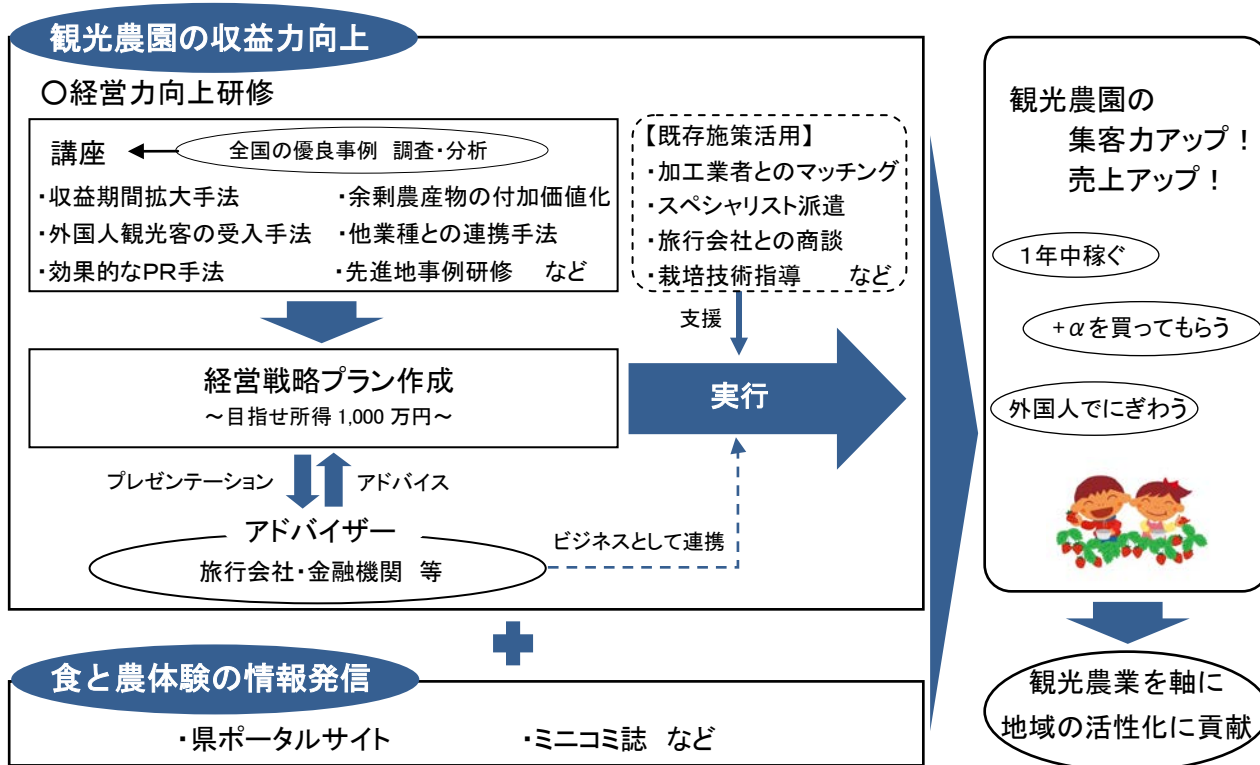
担当 農業ビジネス支援課 農地活用担当  
内線 4097

## 1 目的

都市住民や増加している訪日外国人の食と農体験に対するニーズを捉え、県内観光農園等が経営戦略プランを作成し、経営力と集客力の向上を図ることで、儲かる観光農業を推進する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 観光農園収益力向上支援事業	県	県内の観光農園を対象に、経営力や集客力を向上させる経営戦略プランを作成する集合研修を実施する。	5,784千円
(2) 儲かる観光農業推進事業	県	地域の食や農業体験などの情報をポータルサイトや情報誌等で発信する。	3,555千円



3 平成29年度予算額 9,339千円

## 埼玉トップブランド農産物PR事業

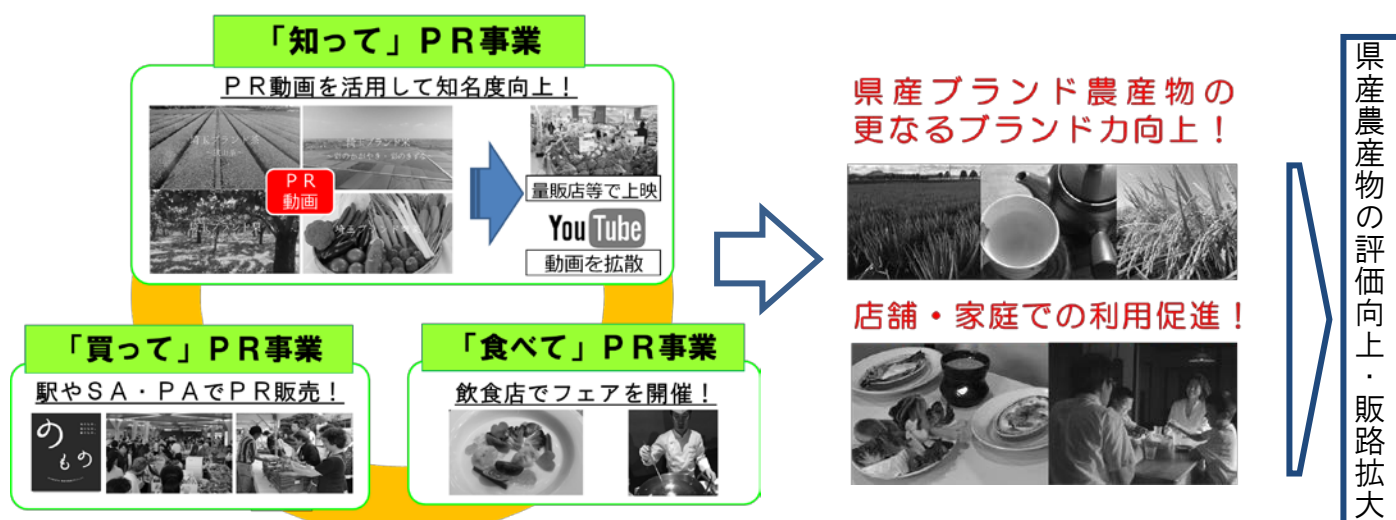
担当 農業ビジネス支援課 販売対策担当  
内線 4106

### 1 目的

産地間競争が激化する中で、本県のブランド農産物の魅力を多くの方に訴求するため、PR動画を活用してブランド農産物の魅力を「知って」もらうとともに、実際に「買って」「食べて」もらう機会を提供するなどして効果的なPRを展開する。

### 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1)「知って」PR事業	県	ブランド農産物の魅力を発信するPR動画を量販店等で活用するために必要な機器を整備するほか、SNSで発信した情報へのアクセスを促進する。	2,924千円
(2)「買って」PR事業	県	多くの人が行き交う駅やSA・PA等において、イベントブースを設置してブランド農産物のPR販売を行う。	1,150千円
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新</span> (3)「食べて」PR事業	県	飲食店で一斉にブランド農産物を使用した料理を提供するフェアを開催するとともに、フェアメニューをレシピカード化し、量販店でのPRに活用する。	4,935千円



3 平成29年度予算額 9,009千円

## 埼玉農産物輸出総合サポート事業

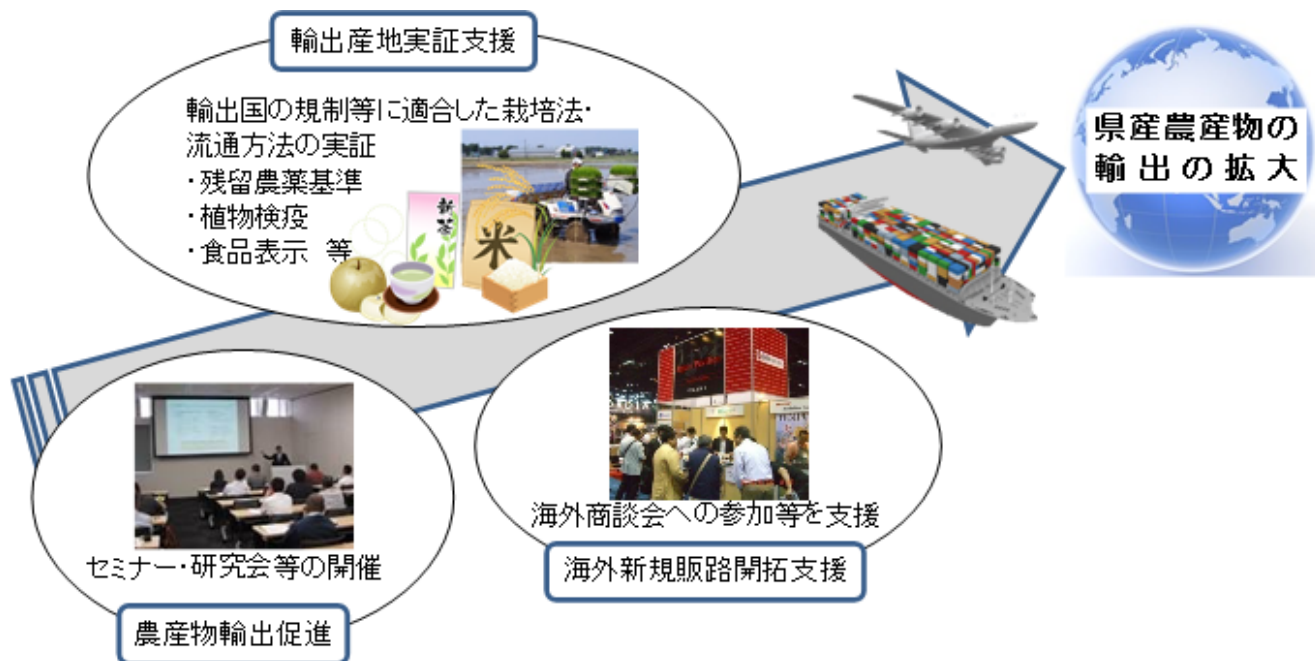
担当 農業ビジネス支援課 販売対策担当  
内線 4107

### 1 目的

輸出を志向する生産者団体等の海外販路開拓を支援するとともに、相手国の規制条件等に対応した栽培や輸出手法等の実証を行い、輸出による県産農産物の販路拡大を図る。

### 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予算額
<b>新</b> (1) 輸出産地実証支援事業	県	輸出相手国の規制条件等に適合した栽培及び流通方法を実証する。 (対象品目：茶、梨、米)	3,300千円
(2) 農産物輸出推進事業	県	輸出に関するセミナー、研究会の開催や海外でのPR販売を実施する。	1,832千円
(3) 海外新規販路開拓支援事業	生産者団体等	県産農産物等の輸出に新たに取り組む生産者団体等に対し、海外の見本市や商談会への参加等を支援する。	1,200千円



3 平成29年度予算額

6,332千円

# 埼玉スマートGAP推進事業

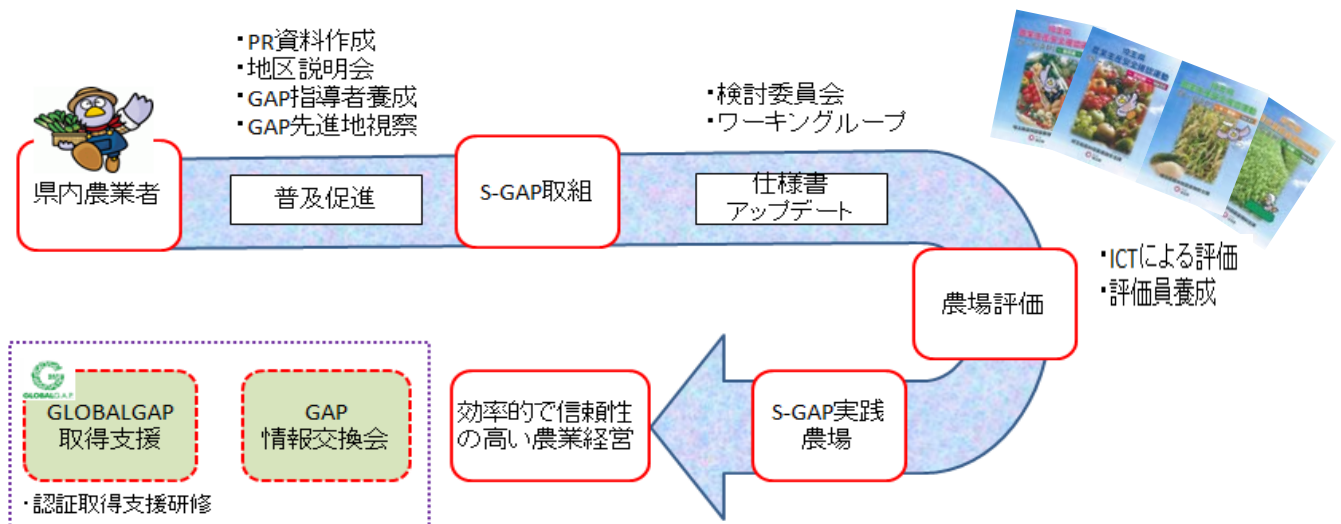
担当 農産物安全課 有機・安全生産担当  
内線 4057

## 1 目的

食品安全・労働安全・環境保全の取組をわかりやすく解説した埼玉県独自のGAP（S-GAP）の普及を推進し、農場管理のより一層の安全性と信頼性の向上を図ることで、県産農産物の安全・安心を確保する。

## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予 算 額
(1) S-GAP普及事業	県	S-GAPの普及推進を図るため、GAP指導体制の整備や情報提供の場の設置等、S-GAPに取り組む農業者への支援体制を整備する。	5,412千円
(2) S-GAPアップデート事業	県	法令やガイドラインの改正への対応や構成、仕様の改善など、検討委員会によるS-GAP仕様の改定等を行う。	1,756千円
(3) S-GAP評価事業	県	S-GAP農場評価制度及び評価支援システムの運用により、S-GAP実践状況の評価を行う。	5,593千円



3 平成29年度予算額 12,761千円

# 埼玉の木みんなを使って豊かな暮らし応援事業

担当 森づくり課 木材利用推進担当  
内線 4318

## 1 目的

県内の高齢化した人工林の若返りを図り、森林の循環利用を進めるため、県産木材の利用拡大を促進する。

## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予算額
(1) 県産木材の利用支援	木材関係団体	県産木材を60%以上使った住宅等の新築・改築・内装を支援 (250戸相当)	49,200千円
(2) 県産木材の供給支援			17,000千円
ア 県産木材製材品 ストック支援	木材業者等	木材市場での県産木材ストック機能の強化支援	13,200千円
イ 森林認証取得支援	森林組合等	国際的な森林認証の取得を支援	3,300千円
ウ 県産木材認証事業	さいたま県産木材 認証センター	「さいたま県産木材認証制度」 の運営等に対する支援	500千円
(3) 県産木材の魅力発信			900千円
ア 木づかい生活推進 事業	林業・木材産業及び 建築関係の団体等	県産木材の利用を促進するためのイベント等に対する支援	900千円
(4) 事業推進費	県	事業推進、指導に係る事務費	1,305千円



県産木材を60%以上使った住宅等の新築・改築・内装を支援（250戸相当）



国際的な森林認証取得による高付加価値化

県産木材コーナーで安定供給とPR



木とのふれあいまつり、西川材フェアなどの支援

HPや雑誌等でのPR



## 3 平成29年度予算額

68,405千円

# 皆伐から始める森の若返りスピードアップ事業

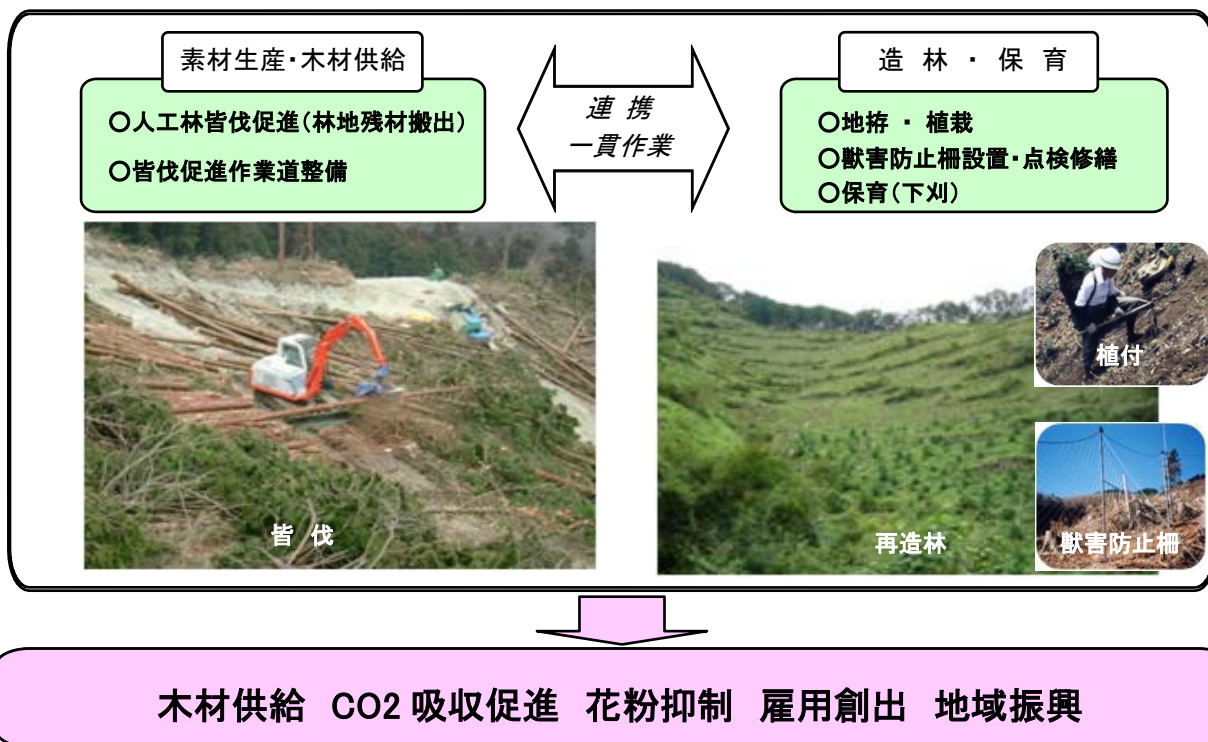
担当 森づくり課 間伐・森林循環担当  
内線 4321

## 1 目 的

伐期を迎え利用可能な人工林を対象として、皆伐から再造林、保育までを一貫して行う森林組合等を支援することにより、森の若返りと森林の循環利用を促進する。

## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予 算 額
(1) 人工林皆伐促進	森林組合等	・ 林地残材搬出 (60ha) ・ 林地残材運搬 (60ha)	45,780千円
(2) 皆伐促進作業道整備	森林組合等	・ 皆伐促進作業道整備 (9,000m)	36,000千円
(3) 地拵・植栽	森林組合等	・ 地拵 (60ha) ・ 植栽 (60ha)	51,000千円
(4) 獣害防止柵設置	森林組合等	・ シカ等獣害防止柵設置 (22,000m) ・ 獣害防止柵点検修繕 (100ha)	81,700千円
(5) 保育	森林組合等	・ 下刈 (160ha)	29,380千円
(6) 検査・指導費	県	・ 検査、指導に係る事務費	2,436千円



3 平成29年度予算額 246,296千円

## 森林・林業基盤の整備

担当 森づくり課 治山・森林管理道担当  
内線 4314、4316

### 1 治山対策の推進

#### (1) 目的

山崩れや荒廃溪流の復旧対策、災害の発生するおそれがある箇所への予防対策を行うことにより、県民の安心・安全な暮らしを確保する。

#### (2) 事業内容

区 分	事業主体	内 容
治山事業	県市町村	山腹崩壊地や荒廃溪流等に治山施設を設置【34箇所】

(3) 平成29年度予算額 518,463千円

### 2 森林管理道の整備

#### (1) 目的

森林管理道を整備することにより、適切な森林整備の推進と林業経営の効率化を図るとともに、山村地域の生活道や災害時の迂回路としての機能を確保する。

#### (2) 事業内容

区 分	事業主体	内 容
森林管理道整備事業	県市町村	森林管理道の開設、改良、舗装【45箇所】

#### 森林管理道の施工例



[改良前]



[改良後]

(3) 平成29年度予算額 627,545千円

合計 林業関係（公共事業） 1,146,008千円

# 農林公園食と農の拠点整備事業

担当 農業政策課 農協・公社担当  
内線 4081

## 1 目的

設置目的である「県民の農林業に対する理解促進」及び「農林業関係者に対する資質向上の支援」を図るため、「埼玉県農林公園」を食と農の拠点として再整備し、本県農林業に関する情報発信機能や学習・体験機能を強化する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 農林業・農山村情報発信拠点整備	県	・県産材を使用した農産物直売所の整備 ・イベント広場の整備 等	184,162 千円
(2) 農林業学習・体験拠点整備	県	・学習・体験農園の整備 ・木材文化館の改修（木育ランド(仮称)の整備) 等	107,446 千円

### 本県農林業を満喫できるテーマパーク

知って、買って、食べる  
県産農産物のPRの場づくり

#### ○農産物直売所を一新

- ・県内の6次化商品やブランド農産物の販売



ハム・ソーセージ



いちご大福



深谷ねぎ

#### ○イベント広場を拡張

- ・軽トラ市等イベント開催によるにぎわい創出

見て、ふれて楽しく学べる体験の場づくり

#### ○学習・体験農園の充実強化

- ・野菜園、果樹園を約1.5倍に拡張

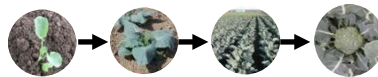


梨「彩玉」



種まきから収穫までの体験

- ・AR(拡張現実)技術の活用による学習機能の充実



例：ブロッコリーの一生を画像で学習

- ・シニアいきいき学習農園の整備

#### ○木育ランド(仮称)の新設

- ・親子が裸足で遊べる木の床エリアの整備
- ・木製玩具コーナーの設置
- ・木工体験の充実



- 農林業体験参加者が増加
- 直売所利用者が増加



- 本県農林業への理解の深まり
- 本県農林産物への需要の拡大



## 3 予算額 291,608千円（一部平成28年度2月補正予算対応）



# 多面的機能支援事業

担当 農村整備課 農村環境担当  
内線 4348

## 1 目的

農業・農村が持つ多面的機能を維持・発揮させるため、地域で行う農地や水路、農道などの地域資源の基礎的な保全活動や質的向上を図る活動を支援する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 多面的機能支払交付金			612,274 千円
ア 農地維持支払	活動組織	水路の草刈りや泥上げ、農道の砂利補充など、農業・農村が持つ多面的機能を支える共同活動を支援する。	
イ 資源向上支払			
共同活動	活動組織	水路、農道、ため池の軽微な補修や植栽による景観形成など、地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する。	
長寿命化	活動組織	水路、農道の補修・更新など、施設の長寿命化のための活動を支援する。	
(2) 多面的機能支払推進交付金			12,823 千円
ア 県推進事務費	県	多面的機能支払に係る事業の推進事務	
イ 市町村推進事務費	市町村	多面的機能支払に係る事業の推進事務	
ウ 推進会議推進事務費	推進会議	多面的機能支払に係る事業の推進事務	

### 基本交付単価

(単位：円/10a)

区分 地目	農地維持支払	資源向上支払	
		共同活動	長寿命化
田	3,000	2,400	4,400
畑	2,000	1,440	2,000
草地	250	240	400

### 【農地維持支払】



### 【資源向上支払】



## 3 平成29年度予算額

625,097千円

# 川の国埼玉 はつらっプロジェクトの推進（農業用水）

担当 農村整備課 農村環境担当  
内線 4348

## 1 目的

川の再生を目的として、平成20年度から「水辺再生100プラン」、平成24年度から「川のまるごと再生プロジェクト」に取り組んできた。

これまでの取組を活かし、県内各地で様々な川の魅力を実感できるように、水辺空間を整備・拡充し「川の国埼玉」の実現を目指す。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容
川の国埼玉 はつらっプロジェクト 推進費（農業用水）	県 市町村	農業用水における環境配慮護岸、遊歩道及び取水堰における魚道の整備  【8箇所】

### 【取組内容】

#### 市町村

##### －地域振興－

- ・県へ事業提案
- ・協議会を運営して提案を具体化
- ・振興施設の整備（駐車場、トイレ、公園等）
- ・イベント企画等で利活用促進
- ・住民や関係団体等と維持管理

連携  
協働

#### 住民,民間団体

##### －利活用や維持管理－

- ・地域振興イベント等実施
- ・ウォーキングや散策等で利用
- ・清掃活動等の維持管理

#### 県

##### －水辺空間の整備－

- ・県のノウハウを生かして地域振興に資する水辺づくり
- ・利活用や維持管理を応援

### 《地域との連携協働》



地元自治会や活動団体がゴミ拾いや花の植栽など、維持管理を実施

### 《整備前》



### 《整備後》



水路と遊歩道を整備し、都市近郊の貴重な水辺空間として、ウォーキングや地域の祭りで利用

【事例：東京葛西用水（草加市・八潮市）】

3 平成29年度予算額 400,000千円